

# ケアマネ SAPPORO

2025.1 発行 冬号

発行

一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1番地  
第1水産ビル4F 北海道介護支援専門員協会 内  
TEL 011-792-1811 / FAX 011-792-5140

## 発達障がいについて

～8050 問題から～

札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる  
センター長 / コラボレーター 坂井 翔一

<みなさんは発達障がいという言葉を知っていますか??>

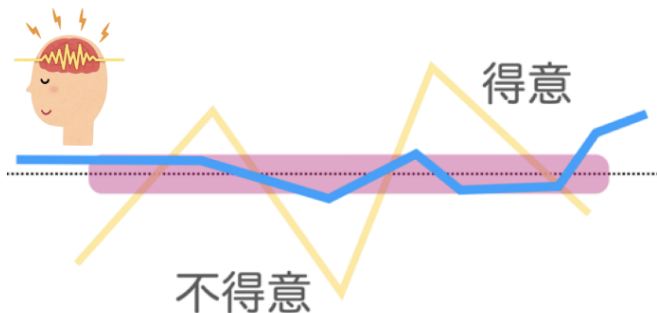
みなさんは「発達障がい」という言葉を知っていますか? ニュースやドラマなどで聞いたことがあるという人や、勉強会に出た時に聞いた、または身近にいるという方もいるかもしれません。以前に比べてみなさんも耳にすることが多くなってきているのではないのでしょうか?

「発達障がい」は日常的にさまざまな困難がある一方、周りの人からは気付かれにくい障がいです。今回はそんな「発達障がい」の特性や配慮の方法などを紹介していきたいと思えます。

<発達障がいの考え方>

発達障がいは、先天的な脳の機能の違いであり、育て方や心の病気からなるものではありません。得意なところと苦手なところの差が目立つ方が多いです(発達凸凹と呼ばれることもあります)。

### 脳にはタイプがある



- ・具体的に言われるとわかるけれど、あいまいな表現だとわかりにくい
- ・言われただけではイメージしにくいけれど、書いてあるとわかりやすい
- ・ひとつのことなら、集中して取り組めるのだけれど、いくつかのことに気を配って進めるのは苦手
- ・うっかりして、同じ間違いを繰り返してしてしまうことがある
- ・頭では理解できるのだけれど、書くのが苦手 など

このような、アンバランスさが影響して、人によっては理解の仕方や感じ方、考え方などに違いが生じ、困り感や日常生活に生きにくさを感じる方も多いかもかもしれません。それぞれ自分にあった学び方や工夫を見つけていき、また周囲の方たちがこのような違いを理解することで、その人らしい自己実現や社会参加を目指すことができます。

### ■発達凸凹の現れ方の一例

- コミュニケーション
  - ・具体的な表現の方がわかりやすい
  - ・自分が知っていることは全部伝えたい
  - ・場にそぐわない言動をしてしまうことがある
- 興味関心
  - ・狭く深く知ることが得意
  - ・ちょっと違うはだいぶ違う
  - ・同じ物、同じ動きをするものは安心する
- 感覚 (※個人差があります)
  - ・触覚・聴覚・嗅覚・視覚などが極度に過敏もしくは鈍い
  - ・不器用さが目立つこともある
  - ・自分で工夫することや近くにいる方の配慮も大切
- 多動衝動
  - ・思いついたら即行動
  - ・何かをしている方が落ち着く
  - ・しゃべりだしたら止まらない
- 注意
  - ・忘れ物、失くし物が多い
  - ・ケアレスミスをよくする
  - ・何かに没頭し過ぎてしまうことがある
- 読み書き算数
  - ・文字が読めない、読めても内容がわからない
  - ・文字が書けない、文法がわからない
  - ・数の大小がわからない、計算が苦手

## &lt;発達障がいの人たちへの関わりは？&gt;

発達凸凹の特徴と、周囲の環境（物ごとや慣習、考えなど）との間に、大きく、または多くの異なりがあると、日常や社会生活において、困難さや生きにくさとして現れてくることもあります。そのようなときに、発達障がいの診断を得たり、福祉サービスの利用などにつながる方もいらっしゃると思います。

一方で、分かりやすい環境を作る・選ぶといった調整をしたり、本人に合った工夫をすることで、その異なりや生きにくさを減らせる場合もあるでしょう。そのため、その方の凸凹のある発達のしかたを理解し、合った環境を考えたり、工夫をしたり、サポートしていくことが重要になるでしょう。

発達障がいは、その特徴を家族・周囲の人がよく理解し、その人にあったやり方や工夫を見つけることが大切になります。本人にあった工夫は、安定した日常の暮らしや学校、就労生活につながりやすく、また、そういった安心した生活の中では、本来の力がしっかり生かされやすくなるでしょう。

## &lt;発達障がいのタイプを知ろう&gt;

これらのタイプのうちどれにあたるか、障害の種類を明確に分けて診断することは大変難しいとされています。障害ごとの特徴（とくちょう）がそれぞれ少しずつ重なり合っている場合も多いからです。また、年齢や環境により目立つ症状がちがってくるので、診断された時期により、診断名が異なることもあります。大事なことは、その人がどんなことができ、何が苦手なのか、どんな魅力があるのかといった「その人」に目を向けることです。そして、その人その人に合った支援があれば、だれもが自分らしく、生きていけるのです。

明確に分けることが難しい発達障がいですが、一つひとつの特徴をよく知ることは大切なので、特に多いとされている3つのタイプについて、説明をしていきます。ここではそれぞれのタイプに現れやすい行動の特徴から

「コミュニケーション・興味関心タイプ」

「多動衝動・注意タイプ」

「読み書き算数タイプ」

と呼ぶことにします。



■コミュニケーション・興味関心タイプはどんな特徴があるの？

○コミュニケーション

人とやりとりをしたり、人付き合いをしていくことに特徴が現れやすいです。相手の表情を理解しながら話すことが難しく、一方的に喋り続けてしまったり、他者の立場に立って物事を考えるのが不得意なため、周りが驚くような行動をしてしまうことがあります。

○興味関心

多くの人とは違う視点で物事を捉えているようです。人よりも物に関心を持ちやすい、一度興味を示した物に対してはとことん突き詰めていくというようなことが見られます。また、細かなことによく気がつきますが、ほんの少しの違いを大きく感じやすいので、不安になる場合もあるようです。

このタイプの方々の多くが聞くよりも見て理解する方が得意とされています。「何をするのか？どうやってやるのか？どれくらいするのか？次は何をするのか？」ということが具体的に見てわかると安心できることが多いようです。

また、できそうなことから少しずつ取り組む、なんのためにやるのかがはっきりわかる、と意欲が高まりやすいそうです。遠くの大きな目標を設定するよりも手の届きそうな小さな目標の達成を積み重ねていく方が身に着くことは増えるようです。失敗が少ないので自尊心の向上にもつながりやすくお勧めです。

■多動衝動・注意タイプの工夫は？

○多動衝動

瞬発力、起動力に特徴があります。じっとしているよりは動いている方が得意な方々が多いようです。体だけでなく頭の中も常に動いています。そのため、話し出すと話題が尽きずにしゃべりすぎてしまうことがあります。発想が豊かとも言えます。

○注意

気をバランスよく配ることが難しいそうです。気を配り忘れて物を無くしたり、それほど重要ではないことに没頭しすぎて約束をすっぽかしてしまったりすることがあります。多くの方々の違いはこのようなことが起きる頻度と重大性です。同じことをくり返しがちですが、反省していないわけではなく、悩んでいることもあります。

このタイプの方々は色々なものが目に入ると、気が散ってしまいやすいようです。物事に集中して取り組むときには、整理整頓されたシンプルな環境が良いでしょう。ツールをうまく使って生活している人もいます。タイマー、アプリ、デジタル機器など忘れても思い出せる、無くしても見つけられるような

便利な物がありますので、いくつか試してみて、使いやすい物を見つけるといいでしょう。このタイプの方々は失敗をしたり、他者から注意や叱責を受けたりしてしまう機会が多く、自尊心が低下しやすいようです。周囲の方々は生活しやすい工夫を一緒に考えるなど、肯定的な関わり方をすることが大切です。

■読み書き算数タイプはどんな特徴があるの？

全般的な知的能力には問題はありませんが、「読む」「書く」「算数機能」のうちひとつまたは複数の分野に特徴が見られます。

○「読む」

文字を読むこと自体もそうですが、正確さ、スムーズさ、読んだものの理解などに難しさがある場合があります。

○「書く」

つづりや文法を間違え、書いた文章がわかりにくいなどがあつたり、書くことに大きな労力がかかるなどがあります。

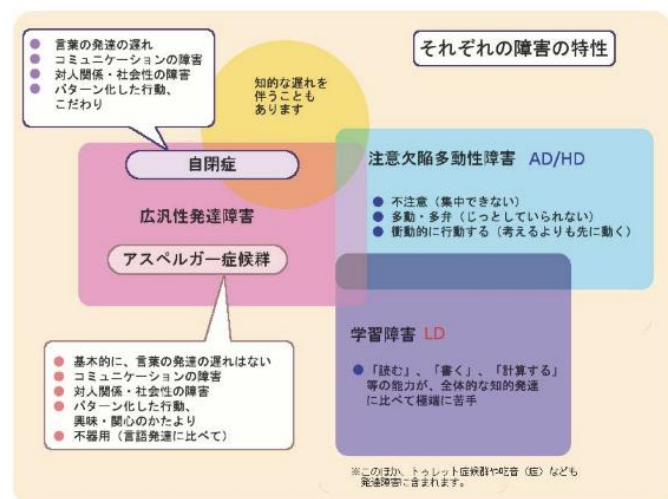
○「算数機能」

数の大小や計算、推論などが難しいようです。

読み書き算数は学習の基本となる力のため、このタイプの方々は学校生活でのつまづきが多いようです。また、知的能力には問題がないので、「サボっている」「やればできるはず」と誤解を受けたり、本人が周りに言えずに一人で悩んでいることもあります。「文章は読めないけど、聞いたらわかる」「筆記用具では書けないけど、タイピングはできる」などできることはあるので、本人が持っている力とツールをうまく掛け合わせることで、生活しやすくなることは増えると思われまふ。

発達障がいの中でも特に多いとされている3つのタイプについて、簡単に説明をしました。

「どのタイプにあたるのか明確に分けることは難しいとされています。大切なのは一人一人の違いを知り、どんなことが得意で、どんなことは配慮が必要なのかなどの特徴を理解することです。



＜発達障がいに気がついたときは？＞

まずは、普段の生活状況をよく知る身近な人に相談しましょう。例えば、保護者は子どもの通う保育園や学校の先生、働いている本人であれば職場の上司などが考えられます。また、本人の身近にいる人と一緒に相談窓口で相談できると、学校での様子を踏まえた自宅での子どもへの接し方をアドバイスしたり、職場での様子の聞き取りから、担当業務の見直しを会社に提案したりするなど、相談員が状況に応じたより具体的な支援を行えることもあります。

＜札幌市自閉症・発達障害支援センターの役割＞

私たちおがるも、支援者の方を含めて相談できる機関の一つです。おがるについて最後に少し紹介させていただきます。

札幌市自閉症・発達障がい支援センター(愛称おがる)は、「発達障害者支援法」「発達障害者支援センター運営事業実施要綱」に基づいて設置された機関です。札幌市にお住まいの発達障がいのある子ども、成人の方への支援体制を整えていくことを業務としています。こうした取り組みを次の4領域で進めていきます。

- ・研修機能 ～ 専門家向けや一般向けなどさまざまな対象者に向けた講義や実技などの主催研修を行います。また、ご依頼に応じて外部への研修会に講師の派遣を行います。
- ・機関支援 ～ 様々な事業所からご依頼に応じて、機関コンサルテーションの実施、支援会議への参加などを行います。
- ・調整会議の参加 ～ 札幌市の発達障がい支援体制整備に関する各種会議に参加を行います
- ・情報整理面談 ～ 札幌市内には発達障がいのある方を地域で支えるためのシステムがあります。来所面談を通して、一緒に情報を整理したり、必要な情報提供を行います。来所面談は電話受付での予約制となっています。

■おがるの相談

“現状の整理”や、“どのような関わりや教え方がわかりやすいのか？”など、事業所（福祉サービス、幼稚園・保育園、学校、大学、企業など）のご相談をお聞きして一緒に考えることができます。

必要なときは、ご相談・ご活用ください。詳しくはホームページ等をご覧ください。



# 特別障害者手当のご案内

精神または身体に著しく重度の障がいがあり、日常生活において常時特別の介護を必要とする、在宅で生活をする方を対象とする『特別障害者手当』という制度があります。

対象となる方は、重度の障がい固定していることが前提となります。障害者手帳の所持は必須でなく、年齢の上限もありませんので、介護や支援を必要としている方やそのご家族からご相談がありましたら、本制度をご案内いただけますと幸いです。なお、ご申請いただく際には、**事前にお住まいの区の保健福祉課までご相談いただきますようご案内ください。**

## 特別障害者手当について

対象となる方	精神または身体に重度の障がいがあるため、日常生活で常時の介護が必要な状態にあり、在宅で生活をする方
対象年齢	20 歳以上
手当支給額(令和 6 年度)	月額 28,840 円 (5 月、8 月、11 月、2 月にそれぞれ前月分までが支給されます。)
手当の認定基準	障がい部位別に認定基準が設けられており、札幌市公式ホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

### 所得制限限度額について



特別障害者手当には所得制限が設けられております。受給資格者となる方、配偶者や扶養義務者に所得制限限度額を超過した方がいると、認定基準に該当する障がい程度であっても、手当の支給を停止します。

### 手当の新規認定請求について

特別障害者手当の新規認定請求にあたっては、「新規認定請求書」のほか、部位ごとの専用の「認定診断書」等を提出していただく必要があります。必要書類は各区保健福祉課にお問い合わせいただくか、以下ホームページからご確認ください。

### 施設に入所している場合

養護老人ホームへ入所している場合や医療機関へ入院している場合などは、認定基準に該当する障がい程度であっても認定されない場合がありますので、入所・入院されている方は各区保健福祉課にお問い合わせいただくか、以下ホームページからご確認ください。

 特別障害者手当制度の詳細は [コチラ](#) 

札幌市 特別障害者手当



札幌市 HP



認定基準



ケアマネ SAPPORO 2025.1 発行 冬号

発行元：一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会

編集：一般社団法人 札幌市介護支援専門員連絡協議会 広報委員会

広報委員長：大木 雅広

広報委員：小川 美穂

E-mail：kouhou@sapporo-cmrenkyo.jp

ホームページ：https://sapporo-cmrenkyo.jp/（札幌ケアマネで検索可）

